

別表第二(第二条関係)

機能ID	大項目	中項目	小項目	帳票要件	実装区分				適合基準日
					都道府 県	指定都 市	中核市	一般市 区町村	
0380039	00 共通	0.5 帳票出力機能	0.5.1 電子公印	公印が必要な帳票を出力する場合は、電子公印もしくは“(公印省略)”といった文言を印字できること。  ※1 帳票単位で設定した電子公印を印字すること。 なお、電子公印は複数管理でき、必要に応じて切替えができること。 ※2 職務代理者の公印印字も対応できること。 ※3 公印もしくは“(公印省略)”といった文言の印字有無をパラメタ等で設定できること。			◎	◎	令和8年4月1日
0380040	00 共通	0.5 帳票出力機能	0.5.2 事件簿番号	事件簿番号を自動で採番できること。			○	○	令和8年4月1日
0380041	00 共通	0.5 帳票出力機能	0.5.3 一括出力	出力可能な帳票が複数存在する場合、出力可能な帳票種類が一覧形式で表示され、一括で出力する帳票を指定できること。			◎	◎	令和8年4月1日
0380042	00 共通	0.5 帳票出力機能	0.5.4 プリンタ選択	出力先のプリンタの設定ができること。			◎	◎	令和8年4月1日
0380043	00 共通	0.5 帳票出力機能	0.5.5 印刷設定	印刷時の出力プリンタの変更と用紙(カセット)指定ができること。			◎	◎	令和8年4月1日
0380044	00 共通	0.5 帳票出力機能	0.5.6 帳票設定	帳票の固定文言(教示文全体を含む)を管理できること。  ※1 各帳票のシステム印字項目単位に設定できること。 ※2 ※1に加え、管轄や所属等の印刷場所単位に設定できること。 ※3 印字有無、文言を設定できること。 ※4 文言は、次の管理ができること。 ・複数行(改行付き)を管理できること。 ・先頭文字に全角空白文字を設定できるなどインデントに対応できること。 ・文字の強調(ボールド、アンダーライン、文字サイズ等)は含まない			◎	◎	令和8年4月1日
0380276	01 調査票	1.4 調査票出力機能	1.4.1 電子媒体出力	調査票の電子媒体出力ができること。  ※1 出力範囲を指定しての出力が可能。 ※2 文字コードはS-JIS又はUNICODEを使用。 ※3 出力前に電子媒体を初期化すること。			◎	◎	令和8年4月1日
0380277	01 調査票	1.4 調査票出力機能	1.4.2 出力	機能ID:0380276において電子媒体出力した調査票に、外字が含まれている場合、外字出現情報一覧表が出力されること。			◎	◎	令和8年4月1日
0380278	01 調査票	1.4 調査票出力機能	1.4.3 出力	任意のタイミングで媒体への出力内容を画面上で確認できること。  ※1 媒体内容を印刷することは可能。			○	○	令和8年4月1日
0380279	01 調査票	1.4 調査票出力機能	1.4.4 出力	媒体出力内容を出力できること。			○	○	令和8年4月1日
0380280	01 調査票	1.4 調査票出力機能	1.4.5 出力	調査票データの印刷ができること。  ※1 一括出力(前回出力以降に作成された調査票を出力)と個票出力(指定した事件簿番号の調査票を出力)の両方が可能。 ※2 該当するレコードが存在する限り出力すること。 ※3 紙媒体での出力の場合、外字も印字されるため、外字出現情報一覧表の出力は不要。 ※4 備考欄の印字文字数が、60文字を超える場合は、61文字以降を備考欄別紙に印字すること。			◎	◎	令和8年4月1日

機能ID	大項目	中項目	小項目	帳票要件	実装区分				適合基準日
					都道府県	指定都市	中核市	一般市区町村	
0380281	01 調査票	1.4 調査票出力機能	1.4.6 出力	備考欄別紙の出力ができること。			◎	◎	令和8年4月1日
0380282	01 調査票	1.4 調査票出力機能	1.4.7 事件簿番号修正	機能ID:0380276及び0380280において、調査票出力前に事件簿番号が修正できること。 ※1 開始番号の入力により自動で連番が振れること。 ※2 ※1に対し、手動でも番号が振れること。			○	○	令和8年4月1日
0380283	01 調査票	1.4 調査票出力機能	1.4.8 報告漏れ防止	機能ID:0380276において、報告漏れを防止するために注意喚起などのメッセージを出力する機能を実装すること。			◎	◎	令和8年4月1日
0380289	02 事件簿	2.3 事件簿出力機能	2.3.1 プレビュー表示	事件簿の出力イメージを表示できること。			○	○	令和8年4月1日
0380290	02 事件簿	2.3 事件簿出力機能	2.3.2 出力	事件簿及び番号簿(機能ID:0380285の一覧画面)を出力できること。			◎	◎	令和8年4月1日
0380291	02 事件簿	2.3 事件簿出力機能	2.3.3 出力	機能ID:0380290について、全件出力できること。 ※1 該当年に届書を受付け、調査票を作成した事件について出力すること。			◎	◎	令和8年4月1日
0380292	02 事件簿	2.3 事件簿出力機能	2.3.4 出力	機能ID:0380290について、指定出力できること。 ※1 指定した「月」に受付けた届書のうち、調査票を作成した事件について出力すること。 ※2 削除した事件も含む。			◎	◎	令和8年4月1日
0380300	03 人口動態調査市町村送付票	3.4 送付票出力機能	3.4.1 プレビュー表示	送付票の出力イメージを表示できること。			◎	◎	令和8年4月1日
0380301	03 人口動態調査市町村送付票	3.4 送付票出力機能	3.4.2 出力	既存の送付票を一覧から選択し出力できること。 ※1 複数出力可。			◎	◎	令和8年4月1日
0380302	03 人口動態調査市町村送付票	3.4 送付票出力機能	3.4.3 出力	送付番号、送付年月日を入力し、事件簿番号を設定することで、新規の送付票を出力できること。 ※1 送付票番号、送付年月日にはそれぞれ、作成済みの送付票番号のうち最大値+1、本日の日付を初期値として設定。			◎	◎	令和8年4月1日
0380303	03 人口動態調査市町村送付票	3.4 送付票出力機能	3.4.4 自動出力	機能ID:0380302において、自動出力ができること。 ※1 前回送付票に記載した事件簿番号以降の事件簿番号に関する送付票の出力を行うこと。			◎	◎	令和8年4月1日
0380304	03 人口動態調査市町村送付票	3.4 送付票出力機能	3.4.5 出力	機能ID:0380302において、番号入力ができること。 ※1 送付する調査票の事件簿番号を指定して出力を行うこと。 ※2 入力値と実際のレコードに矛盾がないか審査すること。			◎	◎	令和8年4月1日

機能ID	大項目	中項目	小項目	帳票要件	実装区分				適合基準日
					都道府 県	指定都 市	中核市	一般市 区町村	
0380305	03 人口動態調査市町村送付票	3.4 送付票出力機能	3.4.6 出力	機能ID:0380304において、自動で事件簿番号を取得できること。			○	○	令和8年4月1日
0380306	03 人口動態調査市町村送付票	3.4 送付票出力機能	3.4.7 出力	機能ID:0380302において、該当する調査票が存在しない場合は、メッセージを表示すること。			◎	◎	令和8年4月1日
0380311	04 受理証明書	4.4 受理証明書出力機能	4.4.1 プレビュー表示	機能ID:0380310で表示された死産票一覧から選択した死産票について死産届の受理証明書の出力イメージを表示できること。  ※入力画面上で出力イメージが確認できる機能の実装でも可とする。			◎	◎	令和8年4月1日
0380312	04 受理証明書	4.4 受理証明書出力機能	4.4.2 出力	機能ID:0380310で表示された死産票一覧から選択した死産票について死産届の受理証明書を出力できること。  ※1 複数出力可。 ※2 出力前に出力先及び管掌者を設定できること。 ※3 イメージ表示ができること。			◎	◎	令和8年4月1日
0380314	01 調査票	1.4 調査票出力機能	1.4.9 出力	調査票の枠及びデータをまとめて印刷できること。 また、手書き用に調査票の枠のみの印刷ができること。			○	○	令和8年4月1日

備考

◎: 地方公共団体情報システムに必ず実装しなければならない機能(実装必須機能)

○: 地方公共団体情報システムに実装するか否かについて当該システムを開発する事業者が判断する機能(標準オプション機能)

×: 地方公共団体情報システムに実装してはならない機能(実装不可機能)